

議題 3 第 3 次春日井市子ども読書活動推進計画の 施策事業の実施状況について

1 令和 2 年度の事業の成果

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、図書館をはじめ各施設において臨時休館や各事業の中止・延期等を余儀なくされたが、このような状況下においても実施可能な事業を進め、次のような成果を得た。

基本目標Ⅰ：家庭・地域・学校などにおける読書活動の推進

読書機会を提供するため、市図書館においては、乳児に対するブックスタート事業や幼稚園・保育園に対する特別団体貸出、小中学生の読書感想文コンクール等を行った。また、学校等においては、保育園等における絵本の読み聞かせや小中学校における読書週間事業等を行った。

更なる読書機会の提供を図るため、市図書館で、本の福袋や、各種テーマに沿った本の紹介・展示を実施した。また、「春日井のむかし話」掲載の民話について読み聞かせ動画の制作・配信を行い、新たな方式での読書機会創出を図った。

これらの事業をとおして、子どもに対する読書活動の推進について一定の成果を得た。

基本目標Ⅱ：読書活動に関する理解と関心の普及

読書に対する関心を持たせるため、市図書館においては、秋の読書週間に合わせイベント等を実施した。

また、読書手帳おためし版を作成して小学校図書館に設置し、読書手帳の普及と図書館の利用促進を図った。

さらに、子どもが読書をとおして将来を考える機会を提供するため、中部大学と連携して、10 代の未来さがし講座を行い、読書の重要性の啓発を行った。

これらの事業をとおして、読書活動に対する理解と関心を高めるように普及啓発を図った。

基本目標Ⅲ：市図書館などの読書環境の整備・充実

市図書館においては、館内展示やホームページによる読書情報発信、夏休みの月曜開館、除籍本の小学校や幼稚園・保育園への提供等を行った。資料収集面では、読み継がれる絵本コーナーを設置し、子どもや子育て世代に向けた名作絵本の収集や紹介を行った。また、各図書室の資料の充実、ティーンズコーナー配置本や外国語資料・障がい児向け図書等の拡充等を行った。

小中学校においては、引き続き学校図書館の図書充実を進めたほか、調べ学習のための市図書館蔵書利用やボランティアと連携した読書環境づくり等を行った。

これらの事業をとおして、子どもの読書環境の整備・充実を図った。

2 第3次計画の検証

第3次計画については、令和2年度に第4次計画を策定する時点で、次のとおり検証結果をまとめ報告している。なお、令和元年度から2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、図書館をはじめ各施設の臨時休館や事業の中止等で施策事業が実施できず、目標を達成することができない事業もあった。

基本目標Ⅰ：家庭・地域・学校などにおける読書活動の推進

子どもが読書に親しむことができるよう、乳幼児期からの絵本の読み聞かせの重要性を啓発するブックスタート事業や赤ちゃんのためのおはなし会の開催、ボランティアとの協働による公民館等での絵本や紙芝居の読み聞かせ、幼稚園や保育園を巡回する特別団体貸出、小学校や中学校での全校一斉の朝読書や読書感想文コンクール及び読書感想画コンクールの実施、子ども司書養成講座の開催、テーマや年齢に合わせて市図書館が選書した本の福袋の提供など、さまざまな事業を実施し、読書活動を推進した。

基本目標Ⅱ：読書活動に関する理解と関心の普及

読書に対する関心を高めるため、春のこどもの読書週間や秋の読書週間に、読み聞かせや図書館探検など、ボランティアとの協働によりさまざまな啓発事業を実施した。

また、読書の楽しさを知るきっかけづくりとして、小学生を対象に読書手帳を配付するとともに、市図書館ホームページやじどうしつだより、児童室だより、TC（ティーンズコーナー）通信で年代別におすすめの本を紹介するなど、図書に関する情報を提供した。

基本目標Ⅲ：市図書館などの読書環境の整備・充実

読書の楽しさを知り、親しむことができるよう、市図書館ホームページでの新着本情報等の提供や、図書の予約等電子的なサービスによる利用促進を図るとともに、10代向けの図書をそろえたティーンズコーナーの設置やTC通信の発行をとおして、中学生、高校生の利用促進を図った。

また、高蔵寺まなびと交流センター図書館との連携を進め、それぞれの長所を生かした運営を図るとともに、各図書室においては、児童書を始め図書資料の更新を進め、子どもの年齢に応じた読書環境の充実を図った。

このほか、子ども自身が学習課題を調査研究し、解決を図っていくための調べ学習への支援として、学校への団体貸出を実施した。